

黒島地区の町並み保存

■伝統的建造物群保存地区

黒島地区では私達の祖先が残してくれた、この貴重な町並みを良好な状態で維持・保存し、後世に受け継いでいくために、町並み全体が「伝統的建造物群保存地区」に指定されています。

「伝統的建造物群保存地区（略して伝建地区）」とは、昭和50年の文化財保護法の改正により、周囲の環境と一体をなして歴史的な風致を形成している伝統的な建造物群を対象に、地区全体を文化財として指定し、保存していくとする制度です。また全国の伝建地区の中で、特に価値が高いものは、国から「重要伝統的建造物群保存地区（略して重伝建地区）」に選定されます。平成21年4月1日現在で、全国の83地区の歴史的な町並みが重伝建地区に選定されています。

黒島地区は平成20年に地元の下承を得て、平成21年1月6日に輪島市の伝建地区に指定されました。現在は輪島市から国に対して重伝建地区への選定申請が行われているところです。

見どころ紹介



■県指定文化財角海家住宅

角海家住宅は明治5年に建築されました。主屋と土蔵4棟が県の文化財に指定されており、名実ともに黒島を代表する廻船問屋です。現在は保存修理工事中で、平成23年度から一般公開の予定です。

■天領北前船資料館

館内では航海の安全を祈願した船絵馬や、羅針盤、和磁石など北前船に関する資料が展示されています。また天領祭に曳き出される輪島塗の曳山も常時公開しています。（休館日：月曜日、祝日の翌日）



天領黒島の祭礼



■黒島天領祭(8月17日、18日)

大阪城と名古屋城を模した二基の曳山が、勇ましい声とともに町を駆け回ります。武者人形やのぼり旗が飾りつけられた曳山は、総輪島塗金箔仕上げの豪華なもの。子どもの奴振り行列も見ものです。

■船方祭り(宵祭り・1月9日)

海との結びつきが強い船員衆が海上安全を祈願して行う祭礼です。宵祭りでは、高張り提灯を先頭にして、角海家を筆頭に町内の30軒ほどの家を回って、玄関先で威勢よく天領太鼓を打ち鳴らします。



能登天領・黒島町並み散策マップ

《マップの凡例》

- ■ — 伝建地区の範囲
- 歴史的建造物(築50年以上)
- 散策ルート

③角海家住宅

※平成23年度より一般公開予定

②北前船資料館



①旧嘉門家跡



⑩眺望スポット



④工野千治家(T15年)



⑤北湯宣治家(M30年)



⑥七野孝子家(M25年)



⑦坂本勝雄家(明治期)



⑧坂本勝寛家(M20年)



⑨中町やよ家(M5年頃)



⑪松本理容(S36年)



⑫川端萬治家(M19年)



⑬中谷悦二家(明治期)



⑭中谷藤四郎家(S8年)



⑮釜口治一家(S26年)



⑯林義雄家(M39年)



⑬中谷悦二家(明治期)



⑯釜口治一家(S26年)



⑯釜口治一家(S26年)



⑯釜口治一家(S26年)

まち歩き注意点

■黒島地区は町並み全体が文化財に指定されています。散策される場合には、大切な文化財を損なわないよう、下記の点にご注意いただきますよう、よろしくお願いします。

其の一、地区内は住民の生活の場です。散策の際には最低限のマナーを守って下さいますよう、お願いします。

其の二、マップに掲載している個人住宅は非公開です。散策の際にはプライバシーに十分配慮下さいますよう、お願いします。

其の三、黒島は木造住宅が密集する地区です。火災につながる恐れがありますので、地区内では全面禁煙にご協力下さい。

まち歩きモデルコース

■移動時間はすべて徒歩の場合の目安です。
■施設の見学時間は目安です。
■皆さんの持ち時間に合わせてご自由に散策をお楽しみ下さい。

⑩眺望スポット(高台からの屋根並み)

▲ 12分 ▼

⑧坂本勝寛家(非公開) ▼

▲ 4分 ▼

⑥七野孝子家(非公開) ▼

▲ 2分 ▼ 5分

③角海家住宅(平成23年度公開予定) ▼

▲ 4分 ▼

②北前船資料館(見学時間20分) ▼

▲ 2分 ▼

①旧嘉門家跡 ▼

▼ 5分 ▲

⑬中谷悦二家(非公開) ▲

▼ 5分 ▲ 15分

⑮釜口治一家(非公開) ▲

▼ 3分 ▲

⑯泉和典家(非公開)



高台からみる黒島集落(T)



集落南側の町並み(T)

